



野呂山サマ・レース

8月18日 野呂山スピードパーク
主催=野呂山スピードパーク

インから抜き去る③増田サバンナ。

海拔 980m の国立公園・野呂山は下界から避暑客でにぎわい、そこで行なわれたレースを見物する者も多かった。レースはMクラスと1300~2000の混合2ヒートが行なわれ

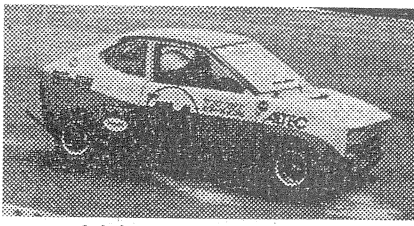
Mクラス・レース 出走10台 25周
360と500ccの混合レース。しかし、ポールポジションは360ccの④清本正治(フロント)がとった。タイムは57秒0。注目の④青木健一郎(フロント)は徹夜の整備も間に合わ

ず、最後尾から出走。スタートはル・マン式。清本がまずトップで第1コーナーに飛びこむ。しかし、青木はするすると前に出て、1周めを終わるころにはトップに立っていた。けっきょく、青木のペースは落ちることもなく、このレースを独走した。

結果 360ccクラス 1位 ④清本正治(フロント) 2位 ⑥村上洋二(フロント)

500ccクラス 1位 ④青木健一郎(フロント) 2位 ③倉重和伸(ホンダZ) 3位 ②切戸草夫(ホンダZ)

1300・2000混合レース 出走11台 20周
1300クラス5台、2000クラス6台。サバンナで増田建基が挑戦する。ポールポジションは③増田の50秒5。第1ヒート、やはり③増田が速く、スタート・ツー・フィニッシュで



④青木フロントの強さは別格だ。

1位。第2ヒートも増田が勝って完全優勝をはたした。

結果 2000クラス 1位 ③増田建基(サバンナ) 2位 ⑤中村修司(サバンナ) 3位 ⑥村中一成(サバンナ) **1300クラス** 1位 ⑦小河原金平(サニー) 2位 ⑩波田修(パブリカ) 3位 ⑨中村晴久(コローラ)。(中国地区通信員・中山敏美)

野呂山ノーマルカー・ゴールデン・レース第1戦

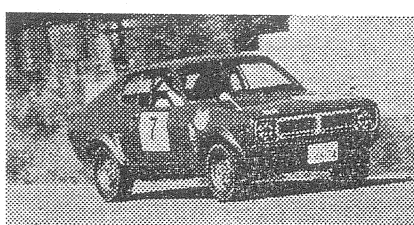
8月15日 シュロ・スポーツカー・クラブ
主催=野呂山スピードパーク

このサーキットはノーマルカー・レースが行なわれたことがなく、ジムカーナ選手の要望で、今回、ノーマルカー・レースが合わせて行なわれることになった。

ジムカーナは40台で争そわれ、⑤割鞘孝(トレノ)が総合優勝した。

ノーマルカー・レースはクラス分けはなく13台によって争われた。

結果 ジムカーナ Mクラス 1位 角本たけし(ホンダ) 64秒94 2位 橋本富美夫(フロント) 68秒14 3位 景山進(フロント) 68秒87 **TAクラス** 1位 松本進(サニー) 61秒12 2位 小島宏昭(スバル) 61秒25 3位 日下部光昭(シビック) 63秒32 4位 浮田健司(シビック) 63秒39 5位 出本健男(サニー) 63秒73 6位 島辰三(ホンダ) 63秒98 **TBクラス** 1位 割鞘孝(トレノ) 59秒42 2位 渡辺忠夫(レビン) 60秒66 3位 加藤昌吾(セリカ) 60秒97 4位 横山寛治(ギャラン) 61秒29 5位 福場修司(カリナ) 63秒17 6位 野村正敏



ノーマル・クラス優勝者⑦横山FTO。



ジムカーナの優勝者⑤割鞘。

(レオーネ) 65秒12 **CAクラス** 1位 瀬川和宏(コローラ) 62秒43 2位 吉井正晴(サニー) 62秒94 3位 長井良澄(シビック) 66秒57 **CSクラス** 1位 中山昇(ベレット) 60秒37 2位 加藤忠雄(サニー) 63秒04 3位 中野元詞(ギャラン) 65秒71 4位 岩見信章(セリカ) 66秒18 **ノーマルカー・レース** 1位 横山寛(ギャラン) 15周 2位 加藤昌吾(セリカ) 15周 3位 渡辺忠夫(レビン) 15周 4位 松本進(サニー) 15周 5位 遠藤寿昭(セリカ) 15周 6位 十文字久(シビック) 15周。

(中国地区通信員・中山敏美)

がに水びたし。まるでモーターボートのレースのようになった。スタートは変則ル・マン式で行なわれたが、1周めには車の間隔が大きく開いていた。トップは⑥花里功(SMRCフロント)だったが、5周めにピットイン、プラグを点検してコースにもどったが、そのときは⑧中川義隆(ミサワZ)がトップに立っていた。タイムはいつもの20秒落ちの1分30秒台。しかし、中川も17周めにスピン、けっきょく、⑦下平健滋(ホンダZ)が優勝した。

結果 1位 ⑦下平健滋(ホンダZ) 1時間00分36秒64 40周 2位 ⑧中川義隆(ミサワZ) 1時間01分32秒87 40周 3位 ⑦横須賀勇(プロトMAX) 1時間01分44秒25 40周 4位 ④恩田茂(習志野Z) 39周 5位 ④林伸夫(マックス) 37周 6位 ⑥花里功(フロント) 33周

T-I・T-II 出走12台 40周

雨の中で抜群の速さをみせたのは①駒光武(サニー)だった。スタート後の第1コーナーでトップに立ち、バックストレッチに現われたときは、すでに2位以下を完全にリードしていた。①駒を追うのは⑩伊勢山義公(サバンナ)。しかし、ラップタイムは駒のほうが1秒速い。この差は最後まで変わらずじまいった。レース中、コース上に野良犬が現われ、イエロー・フラッグが出されるというハプニングがあった。

結果 1位 ①駒光武(サニー) 57分58秒13 40周 2位 ⑩伊勢山義公(サバンナ) 59分01秒92 40周 3位 ⑩中島やすし(ランサー) 59分15秒80 40周 4位 ⑧辻栄次(バーダール・ホンダ1300) 39周 5位 ⑧上原一正(ホンダ) 39周 6位 ②原恵司(ランサー) 39周

FL500 出走11台 25周

予選が行なわれたのはこのレースだけ。ポールポジションは⑬佐藤一彦(ベルコ97A) 1分04秒08。しかし、レースは⑩小平悦久が(ベルコ97A)がリードをとった。2位は⑩金田政行(ベルコ97A)。この2車はキビスを接する戦いを演じている。⑬佐藤はスタートで失敗したが、追い上げて3位に上がったところでスピン。これで、トップグループをおびやかす者もなくなり、⑩小平が⑩金田を押えに押えて勝った。

結果 1位 ⑩小平悦久(ベルコ97A) 30分50秒11 25周 2位 ⑩金田政行(ベルコ97A) 30分50秒45 25周 3位 ⑬佐藤一彦(ベルコ97A) 31分47秒26 25周 4位 ③土佐隆(ベルコ97A) 25周 5位 ⑩山下勇三(ベルコ97A) 25周 6位 ④笛木徳広(ベルコ97A) 25周

'74 ゴールデン・スターズ100

